

丹後の感染症情報をお届けするメール通信

| 感 | 染 | 症 | 情 | 報 | @ | 丹 | 後 |

第2号 (2015年12月25日発行)

こんにちは、丹後保健所 保健室 感染症・難病担当です。

師走を迎え、本格的な感染症シーズンの到来です

丹後保健所に届出か報告のあった感染症について、医療関係者の方に知っていただきたい情報をピックアップしてお届けいたしますので、是非、日常の感染症診療にお役立てください。

不定期の発行となりますが、皆さまからの御意見をお待ちしています。

<主な内容>

- 管内で発生した結核事例の報告 (その2)
- 12月はエイズ予防月間です。HIV豆知識
- 重症熱性血小板減少症 (SFTS) 府内2例目が丹後管内で発生しました
- 感染性胃腸炎の流行状況

■管内で発生した結核事例の報告 (その2) ■

高齢者施設に入所中の80代男性Bさんは、平成25年9月に胸部X線検査で「要経過観察」となり、平成26年の定期健診は「要精密検査」になっていましたが、未受診になっていました。

平成27年4月からADLが著しく低下し、体重が11キロ減少していました。

その後、発熱とSpO2低下で管内病院の救急外来受診、肺炎の診断で入院。喀痰塗抹検査で陽性判明、肺結核と診断され、入院1週間後に結核死亡となりました。

●この事例のポイント●

- 「要精密検査」になっていたにも関わらず、本人の拒否と施設もそれを許したことで、受診が遅れ、結果的に重症の肺結核となって本人は死亡。接触者健診の範囲も施設職員、施設入所者、医療関係職員、病室同室者と広範囲に及びました。
- 丹後保健所管内の社会福祉施設では、利用者や職員が結核を発症する事は毎年起きています。高齢者の場合、呼吸器症状が見られないことも多く、食欲不振や体重減少等の全身症状にも注意が必要です。
- 結核が否定できない段階での咳や喀痰を誘発する気管支鏡検査、吸引等の処置を行う時は従事者はN95マスクの装着が基本です。

■ 12月はエイズ予防月間です ■

丹後保健所では毎週水曜日の午前にエイズ検査を実施しているところですが、27年4月～12月の検査件数は、24件（昨年同時期23件）となっています。

保健師が検査前後に問診を実施し、不安の傾聴に努めています。最近の傾向として、精神的に追い込まれるほど、思い悩んで来所される方が増えています。

保健所では、採血後30分で結果がわかる即日検査を実施しており、検査結果と正しい予防方法を知ることで安心して帰って行かれます。

セックスの経験のある人なら誰でも感染のリスクはあります。一度、気になり出すと検査を受けるまでは不安の解消は困難です。検査相談の場が感染リスク軽減の行動変容の場となれるよう働きかけを行っていきたいと考えています。

● HIV豆知識「職業感染防止について」 ●

HIVに感染した血液暴露によって感染する確率は『針刺しで0.3%』（参考：B型肝炎は約30%、C型肝炎3%）『粘膜で0.09%』と言われています。既治療中の患者の血液であれば確率はさらに下がります。暴露した場合は、洗浄、傷の処置を行い、予防内服を行うかどうか検討します。予防内服は抗HIV薬を4週間内服することで感染の可能性を1/5以下に減らすことができます。予防内服薬は、京都府立医科大学附属北部医療センターに常備しています。

■ 重症熱性血小板減少症（SFTS）府内2例目が丹後管内で発生しました ■

平成27年6月23日に、京都府内で初めてとなる重症熱性血小板減少症候群（SFTS）感染症の患者が丹後保健所管内で確認された件は、新聞報道はじめ、本メール通信でもお伝えしたところですが、府内2例目が、丹後管内で12月5日に確認されました。

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）は 本年12月2日までに日本で166人の感染例の報告があり、うち死亡例は44例です。5～8月の発症例が多く、西日本が中心です。感染経路はマダニを介するものが中心ですが、血液等の患者体液との接触による感染も報告されています。治療については有効な薬剤やワクチンがありませんので、対症療法となります。マダニ対策については、以下のリンクをご参照ください。

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/sfts/2287-ent/3964-madanitaisaku.html>

■ 感染性胃腸炎の流行状況 ■

感染性胃腸炎の京都府全体での定点あたり報告数は49週現在で定点あたり6.79です。京都市内では警報レベル（20以上）に達している地域もあり、注意が必要です。丹後管内でも11月下旬に高齢者施設で集団感染事例の報告がありました。集団感染しやすいノロウイルスなどを念頭に置き、手洗いおよび食品の取り扱いを徹底し、患者との接触やその嘔吐物や便の取り扱いに引き続きご注意ください。

また、今年は「GⅡ17」という新たな型が急増しており、人が免疫を持っていないため、大流行の恐れがあるとして警戒が必要です。そして、この「GⅡ17」は市販の簡易キットで反応しない可能性も指摘されており、その使用には注意が必要です。

簡易キットで陰性であっても有症状時は感染のリスクに注意し、十分な手洗い等感染防止策に努めていきましょう。

★編集・発行★ 京都府丹後保健所 保健室 感染症・難病担当
〒627-0011 京都府京丹後市峰山町丹波 855
電話：0772-62-4312 FAX：0772-62-4368

【あしがき】

2004年～2005年頃にNHKで放送のあった「宮廷女官チャングムの誓い」という番組をご存知でしょうか。韓国の朝鮮王朝を舞台に、宮廷女官（後に医女）となった主人公チャングムが様々な困難に立ち向かいながら、宮廷医務官まで上り詰めるサクセスストーリーです。

そのドラマの中では、たびたび「疫病」が発生します。原因不明の病で次々と倒れていく人々を救うため、疫病の原因を探るチャングム。「疫病」とされた病気の正体は、食中毒だったり、汚染された水だったり、現代にも共通する視点がたくさんあり、納得の結論。

患者の治療法を探る一方で、疫学調査を行い、最後にズバリと病気の原因を言い当て、治療法と予防法を提案する。毎回、再起不能と思われる窮地から立ち上がる主人公チャングムから元気がもらえます。興味のある方は是非視聴を。全54話です。